

& and factory

IoT事業における 事業構造改革に関する概要資料



&。IoT事業における事業構造改革 – 抜本的な収益構造の改善を見込む

IoT事業における構造改革を遂行。2021年8月期において特別損失を計上
来期以降の営業利益に対しては約1.8億円から2.2億円の改善効果を見込む

&AND HOSTEL事業

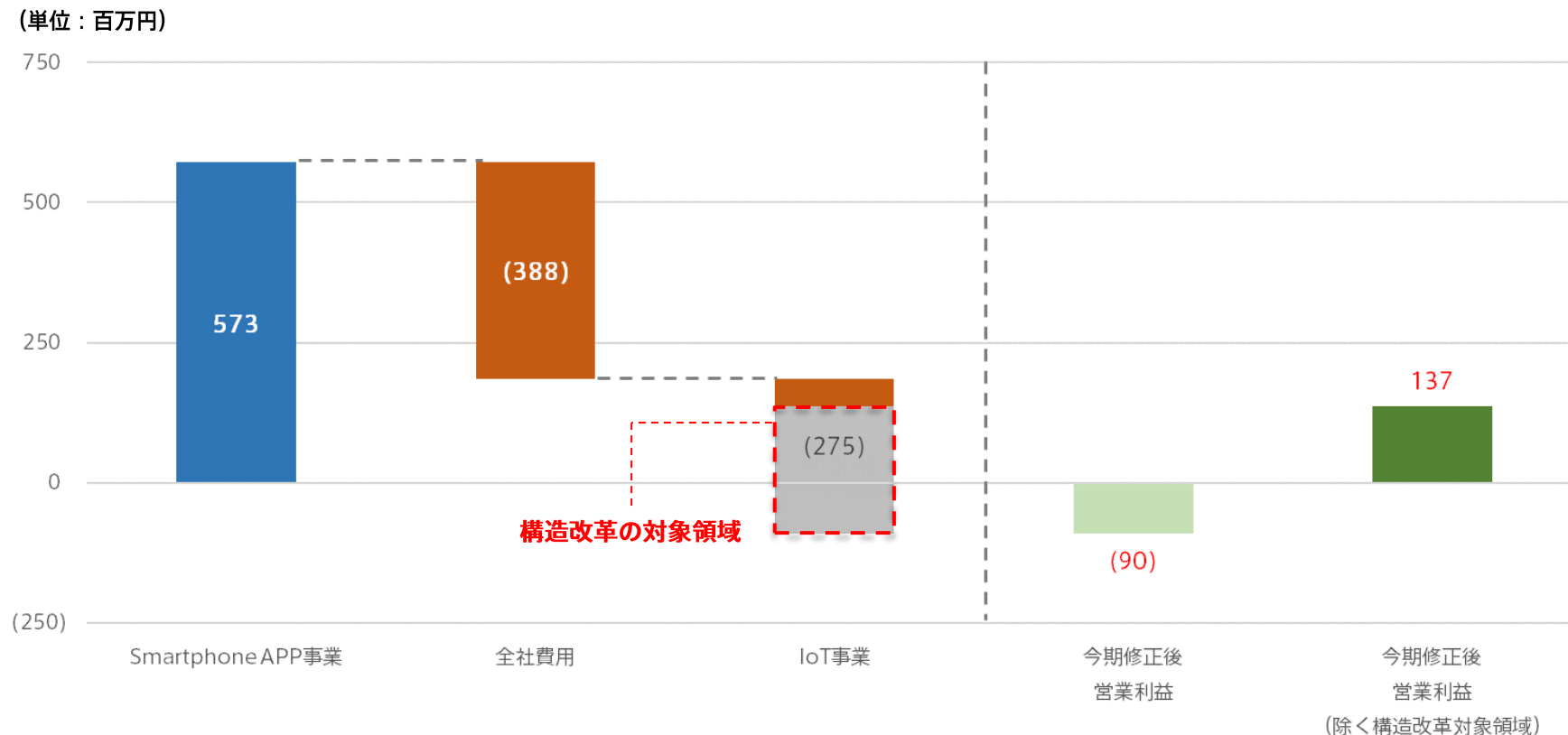
- &AND HOSTELの一部店舗における契約見直しを実施
- 2021年8月期に約2.4億円を特別損失として計上
- 赤字店舗における賃料等の固定費削減により、2022年8月期以降の単年度営業利益に対して1.0億円 – 1.2億円の改善インパクトを見込む
- 残存する店舗については引き続き運営を行い、国内需要の取り込み等を通じた収益の改善に粘り強く取り組んでいく

その他IoT事業（宿泊・賃貸不動産領域）

- 当社が目指す事業の方向性や資本の最適なアロケーションという観点から、tabii、innto、totonoはいずれもサービスの継続を前提に、事業売却に向けた交渉を継続中（決定次第、速やかに開示予定）
- 2021年8月期期の業績に与える影響については、保守的な数値を今回の修正計画に織り込み済み（一部費用が来期に計上される可能性もあり）
- 2022年8月期以降の単年度営業利益に対して7,500万円 – 9,500万円の改善インパクトを見込む

&。 今期の営業利益予想（修正予想）

- 修正後の今期営業利益の着地見込みは約9,000万円の赤字（期初計画比：約-6,200万円）
- 構造改革に伴う一時費用の計上や対象事業の売上剥落が主因
- 営業赤字となっていた事業領域の剥落により、来期以降の営業利益は回復を想定
- なお、構造改革の対象領域を除く全社営業利益は約1.4億円の黒字



&。集英社・白泉社から総額4億円の借入を実施

- 集英社及び白泉社より**総額4億円（集英社：3.5億円、白泉社5,000万円）**の借入を実施
- 当社として強みを有するマンガアプリ事業において、成長戦略の柔軟性を確保する
- より強固な財務基盤をもとに、両社との協業体制を一層強化し、既存のサービスに捉われない新たな取り組み創出を目指す



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。